

全国一般全国協

2016年1月4日 No.130

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 渡辺 啓二

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236 FAX 03-3433-0334

URL: <http://www.nugw.jp/>Email: nugw@nugw.jp

格差と貧困に対決する16春闘を闘おう！

全国一般労働組合全国協議会 中央執行委員長 平賀雄次郎

中東・ヨーロッパ・全世界で「テロとの戦争」という嵐が吹き荒れている中、2016年の幕開けを迎えました。昨年一年、日本の政治・社会の状況は大きく変化しました。格差・貧困の拡大で不安定、流動化する私たちの生活を横目に、安倍政権は戦争法を筆頭に労働者派遣法改悪・原発再稼動・辺野古基地建設・武器輸出容認などを強行し、生活と将来にますます不安の影響を落す事態が続いています。

2016年はこうした流れを押し返し、安心・安全な社会と生活を取り戻すための反撃の1年として重要なときです。

大幅賃上げ、均等待遇、時間規制の強化を！

そのための第一の課題に大きな問題を生み出しは、劣化する賃金・労働条件の抜本的改善を求め、今や全労働者の闘いです。

アベノミクス三本の矢は、低下する実質賃金、引き続く長時間労働の日常化など働くものの賃金労働者の生活を押し下げています。

一部大企業に未曾有の内留保を拡大しただけに、反省もなく、第二ステージと称して「一億総活躍時代」「GDP600兆円」を掲げて財政破綻への道をすすめる日本経済

幅アップ・均等待



1/4 国会開会日 総がかり行動

現実現、8時間労働・年間千八百時間労働への規制強化を三位一体として、職場の取組みを強めること労働基本権の侵害を許さない社会的包囲網を！

第二の課題は、職場の闘いを外へと広げ社会的規制に高めることです。

そのため現在、国会に上程されている「高度プロフェッショナル賃金制度」すなわち定額働かせ放題の時間規制撤廃の法律に反対し、実効性のある時間短縮・労働時間規

制を実現することです。また法律違反の解雇さえ金銭を払えば認めるという「解雇金銭解決法案」も、厚生労働省での審議が始まりました。

一人ひとりの労働者、一つひとつの労働組合の力を一つにして労働基本権の侵害を許さない大きな運動を作り上げることが必要です。

「戦争への道」に反対し続けよう！

第三の課題は、人々の不安と不満を煽り排除と差別を拡大する「戦争への道」に反対し続けることです。

「戦争法」の成立は、私たちが殺し殺される事態をつくり出します。「戦争法」廃止へ向けた2千万人署名が呼びかけられています。沖縄の人々を無視し

スケジュール

- 1月30日(土) 12:30~ 全国協・各県代表者会議 @神明いきいきプラザ(東京浜松町)
- 同31日(日) 9:00~ トラック運輸関連交流会
- 10:00~ 生協労働者交流会
- 13:00~ 介護職場交流会
- 13:00~ 最賃闘争担当者交流会 (いずれも@神明いきいきプラザ)
- 2月20日(土) 18:30~ 全労協・西日本春闘討論集会 ~21日(日) 正午まで @PLP会館(大阪市北区天神橋)

7月には参院選挙があります。安倍政権の暴走に抗する労働者一人ひとりの選択が問われます。力を合わせて、16春闘勝利へ全力をあげて闘いましょう。

新年のごあいさつ

戦争反対・安倍政権打倒を、断固たたかう

全国労働組合協議会（全労協）

議長 金澤 壽



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より、働く者の権利拡充のために奮闘されていることに敬意を表します。

さて、安倍政権は先の通常国会で、安全保障環

労働法制改悪阻止の全国キャラバンを闘おう

中小労組政策ネットワーク

共同代表 中村 宗一



わずか2割の有権者支持を4年間の白紙委任とするかのような安倍政権の暴走は、原発再稼働の加速実行、民意を無視した辺野古への基地建設強行、戦争法の強行可決、

心だった市民や学生へも運動が広がり規模も大きくなってきました。

全労協は、戦争参加法の撤廃をめざして闘う労働者、市民とともに、安倍政権打倒をスローガンに、働く者に犠牲を強いる労働法制大改悪、社会保障制度の改悪、原発再稼働、辺野古への米軍新基地建設、教育改革等々に反対して、断固とした闘いを展開する決意です。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

携えて、政治と社会を変える流れを作り出す第一歩と考えます。中小政策ネットは、安倍政権下ますます加速し、突きつけられてくる様々な事態に對して怒りをもち、元気に闘ってまいります。ふざけすぎた安倍政権にたいして反転攻勢の確実な一歩の年になるよう行動したいと考えます。全国一般全国協とともに奮闘する決意を表明し、新年の挨拶といたします。

正念場の反戦平和、憲法擁護の闘いをともに

全日本港湾労働組合

中央執行委員長 松本 耕三



20世紀末、いわゆる東西冷戦が終結し世界は米国一極支配となりました。誰もが世界に平和が訪れることを望んだのですが、アメリカはイラク湾岸戦争にはじまり、絶え間なく戦争を繰り返してきました。

した。特に、中東のいくつかの国は戦火で焦土と化してしまいました。これが「ISやテロの多発」の要因です。膨大な国土を追われた難民、未来を持たない人々の絶望が温床となった自爆テロの多発、米国一極支配のもたらした25年の結果はあまりにも深刻です。米国の政治は、軍事産業と多国籍企業の強い影響のもと

3単産はストライキはじめ強い決意で闘う

全日本建設運輸連帯労働組合

中央執行委員長 菊池 進



あけましておめでとうございます。

戦後70年となった昨年、私たち連帯労組は「戦争する国づくり」を何としても許してはならないとして、全国各地において南京大虐殺の事実を描い

た「ジョン・ラーベ」上映会、「日本軍慰安婦」のパネル展を開催するなど、悲惨な戦争の真実を多くの人たちに広める運動に3単産はじめ多くの仲間たちと取り組みました。また、組織内においては9月11日、「戦争法案反対」のストライキ行動に全国の仲間たちが立ち上がりました。しかし、安倍内閣は、

にあります。戦争を止めるところか、米国内において拳銃による死亡者が年間1万人を超える状況にあっても、ならん銃規制もできない国となっているのです。この国に世界の平和を語る資格はありません。安倍自公政権はこの米国軍事政策に同一歩調をとることを法制化したのです。戦争への危機は急速に強まっています。反戦平和、憲法擁護のたたかいは正念場を迎えています。ともに、がんばりましょう。

国会周辺を取り巻いた反対の声、若者やママたちの怒りの声を無視して「戦争法」を、強行採決で成立させました。私たちは成立こそ許してしまいましたが、でも、諦めてしまったら終わりです。3単産は「発動させない」「仮に施行されたとしても、いつか必ず廃止に追い込む」という強い決意を持ってこれからも闘い、2000万人署名も全力で取り組まなければならないと思います。

平和を常なるものに

フォーラム平和・人権・環境

事務局長 藤本 泰成



元日に安土城址に登った。「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす」とは平家物語の冒頭、その平氏が壇ノ浦に滅亡してから約四百年、平氏を名乗

振る舞う今の権力者に学んで欲しい。「擔枷帶鎖」欲の鎖に繋がれた凡夫と呼べぬように。このように、全は常ではない、実態はないと禅は教えるが、しかし、常であって欲しいものもある。日本国憲法は、侵略戦争の反省の上にある。その理念である「平和」が無常であってはならない。元から常なるものはないが、常にするとはできる。今年「戦争法」の廃止、参院選勝利だ！

3月12日福島集会、続く「福島連帯・脱原発キャラバン」に取り組もう！ 3月26日「脱原発十万人東京集会」（代々木公園）を成功させよう！

安倍政権は、「帰宅困難地域」を除き、今年3月までに、原発事故など「緊急被ばく状況」下での防護対策として設定されている「放射線20msV以下」なら避難支持を解除すると決定した。

平時時における一般人の被ばく線量の限度は、1msV以下というのが国際的な常識であり、現

状では様々なリスクを住民に押し付けようとしている。

他方、昨年福島県は、自主避難者への住宅支援を打ち切ることを決めている。昨年末になって、「低所得世帯に限り2年間の補助」のみを決めたが、自宅から離れて「仮設住宅」で暮らす人が福島県では未だに約10万

「16...」 「活と平和を生きる」 「春闘を闘い抜こう！」

12月12日、16けんり春闘全国実行委員会が、発



16けんり春闘発足総会 (12/12@東京新橋)

足総会を開催し、『時代の転換に立ち向い、生活と平和を守る16春闘勝利！非正規労働者の賃上げ闘争を実現させよう！』をメインスローガンに、方針を確認した。

16春闘は、全ての労働者が人間らしく生活できる賃金引き上げに全力を尽くすこと。さらに、平和と民主主義を破壊する安倍政権を打倒し、沖縄の人々と連帯して辺野古新基地建設を阻止するこ

とが求められている。2千万人署名を達成しよう。どこでも誰でも月20万円以上・時給千五百円以上の最低賃金保障を勝ちとろう。賃上げ目標を2万円以上・7%以上・時給150円アップと設定して闘う。時間外法規制を、1日2時間、月20時間、年150時間を求める。非正規労働者の待遇改善を求め、労契法20条の活用しよう。解雇自由法・残業代ゼロ法案を阻止すべく全国キャラバンに取り組もう。7月参院選は野党共闘で勝利させよう。

私たちは、福島現地で情報交換を密にし、現地での闘いと固く団結し、被災者に寄り添う闘いと共に展開する必要がある。

また、昨上期最高益をあげたにもかかわらず除染費用を払おうとせず国に押し付け、今なお責任を取らない東京電力、九電の川内1・2号機の再稼働、四電の伊方プルサーマルの再稼働、関西電力の旧式原発II高浜・

大飯の再稼働を許さず闘おう。

昨年に引き続き多くの労働組合と共同し、3月12日福島集会からの福島連帯・脱原発キャラバンに取り組んでいこう！3月26日の脱原発十万人東京集会（代々木公園）を成功させよう！



11.26全労協脱原発集会

11/22

ユニオン北九州 第20回定期大会の報告 『今後もよりいっそう頑張ります!』

11月22日、ユニオン北九州は、第20回定期大会を若松赤島公民館で開催しました。

この1年の運動方針として、冬期一時金、16春闘、定年後再雇用問題、労働条件改善の闘いに取り組むこと、すべての争議に勝利すること、労働相談の組織化、戦争法廃止、沖縄・辺野古の運動に連帯すること、労働法

改悪、等が決議されました。

また、12月1日をもって、自治労全国一般福岡地本へ加盟すること、福岡地本の全労協全国一般への加盟、全労協の導入、400名の組織化と組織活動の強化等が決議されました。

その後、特別アピールとして、会社の不当な処分と闘っている新生物流・大成運輸の仲間が、闘いの報告と支援を呼びかけました。

来期の執行部には、新たに2名の若手組合員を加えた14名と、会計監査、投票管理委員が選出されました。

今年の大会は、組合員・来賓をあわせて89名の結集で、椅子が足りなくなるほどでした。ユニオン北九州は、今後もよりいっそう頑張ります。



12/23

ストライキを決定! 『店舗一人勤務体制』に抗議して 長野一般労働組合ファミリーマート松本・C店・

長野一般労働組合は、組合員が在籍するファミリーマート松本インター店で、一人勤務体制の解消や会社の不誠実な対応に抗議するため、12月23日3時間の時限ストを決行しました。

ファミリーマート松本インター店は株式会社YUKI(本社・長野県諏訪郡富士見町)がファミリーマートとフランチャイズ契約し、松本インター

全国協第25回定期大会に参加して

『熱い集団の一員になれるように...』

ふくしま連帯ユニオン 山城黎香

昨年9月に開催された第25回定期大会に参加させていただきました。私にとっては2回目の定期大会でした。感想を一言で言つと「熱いーめっちゃ熱い!」

いまいち熱さが足りない私には、この場所に居ても良いのだろうか...平静を装っていましたが、実は心の中はソワソワ落

本インター店での一人勤務は最長で11時間にもおよびます。

長野一般労働組合は会社やファミリーマート本社に対して、再三にわたって一人勤務体制の解消を要求してきましたが、本部および会社は具体的な改善策を講じないばかりか、一人勤務体制に応じられないなら「給料減額する」とまで通告してきました。12月2日のスト



12月28日、松本労働基準監督署に刑事告発を相談。会社側の反応を見ながら柔軟に対応することになっています。

ち着いていきました。ただ皆さんの報告を聞いていると、自分も何か人のため、いや自分のためにも動かないといけないという「ちょい熱い」な気持ち芽生えてきました。私自身は障がい福祉サービスを運営している社会福祉法人で働いていましたが、新しく就任した理事長に意見した事に

より不当に懲戒解雇されました。その時に一丸となって助けてくれたのが、ふくしま連帯ユニオンの皆さんでした。まるで身内の事のように親身になって動いて下さり、奈落の底に突き落とされたような気持ちになっ

た。定期大会で感じた自分の損得抜きで、熱い想いを持って日々活動している方々が集まっている組合は、本当に素晴らしいし、これからもずっと続いていかなければならないと思います。自分の力なんか微力ですが、できる範囲で協力していきたいです。そしていつか、熱い集団の一員になれる日が来ますように...

11/13

プレストシープの暴虐許すな！支援共闘結成し反撃を開始！ 宮城合同労組

健康食品・化粧品を製造する株式会社プレストシープ（本社大阪）の宮城工場は、陸羽東線池月駅近くの山中にあり、地元労働者約四〇人が働いています。



大阪本社抗議行動（11月13日）

高橋和浩さんは十一年前から工場で働いていましたが、作業改善などに関してしっかりと意見を述べる彼を快く思わない会社は、職場からの排除を画策してきました。高橋さんは、管理者から暴力・暴言・退職強要・不当業務命

12/28

東部労組市進支部の佐藤さん・高畑さんの雇止め解雇撤回が実現！

12月28日、東部労組市進支部の佐藤さん・高畑さんの雇止め解雇撤回が実現しました。皆さま方

のご支援のおかげです。ありがとうございました。

12月3日の東京高裁勝利判決をうけ、「会社は最高裁に上告しない」と団体交渉で表明しました。

これをうけ、確定した高裁判決の履行に佐藤さん・高畑さんの雇止め解雇は撤回されました。

合意書には「会社は、東京高裁判決に従い、会

12/8

ワタミ過労死裁判が和解成立！
渡辺美樹参院議員らが法的責任認める！

居酒屋チェーン大手のワタミで正社員だった女性が入社2カ月後に過労死した問題で、東部労組に加入した遺族が、ワタミと当時社長だった渡辺美樹・自民党参院議員らが社員個人を相手取って損害賠償を請求した裁判は12月8日、ワタミ側が過労死の法的責任を全面的に認めて謝罪する旨の和解が成立した。この日の裁判所には渡辺氏自らが

令、工場外への隔離等を受け、組合に加入し、会社、工場長、副工場長の三者を相手に闘う決意を固めました。仙台地裁古川支部への提訴と同時に、彼の闘いを支えるため共闘会議を結成し、昨年十一月には大阪本社抗議行動を現地の仲間が力強い

支援で闘い、また工場の近隣で情宣活動を行いました。執拗な暴力行為・人権侵害を許さず、安心して働ける職場環境を目指して闘っていきます。共に勝利をかちとりましょう。皆さんのご支援をよろしく願います。

社が佐藤・高畑に対してなした平成25年2月28日をもって佐藤・高畑との雇用契約を期間満了により終了させる（雇止めする）旨の意思表示を撤回する」旨が明記されています。そして、雇止め撤回をうけ、両名の職場復帰も実現します。バックペイ（雇止め時からの賃金遡及払い）も裁判所が

命じた金額通り支払われます。2013年6月の提訴から2年半、当事者である市進支部の連続的な情宣行動、ストライキ、そして代理人の東・小川両弁護士尽力、東部労組各支部・地域の労働組合の支援。粘り強い、あきらめない闘いが勝利の原動力となりました。

出席し、「責任は私にあります」と遺族に対して謝罪した。

和解条項には、①会社と渡辺氏のホームページに謝罪を掲載すること、②研修やボランティア活動、レポート作成などに要した時間分の残業代を支払うこと、③賃金から渡辺氏の著書などの購入



代金として控除した金銭を支払うこと、④未払い残業代と控除分の金銭をそれぞれ該当する他の社員にも支払うこと、⑤遺族に損害賠償金として1億3365万円を支払うこと、⑥36協定の内容については現行の時間外労働時間に関する規定を低減するように努めることなどが盛り込まれた。

森さんの命が戻るわけではないが、組合員である遺族と支援者らが闘ってきたワタミ過労死闘争は勝利したと言える。ご支援いただいた皆さんには心から感謝を申し上げます。（東京東部労組）

市進支部はこの佐藤さん・高畑さんの勝利解決をまず第一歩として、すべての組合員の不当雇止め撤回をかちとる決意です！

この間ご支援いただいたみなさん、本当にありがとうございました！

すべての争議解決まで、引き続きご支援・ご声援をお願いいたします！

おめでとうございます！



12/3 勝利判決を受け裁判所前で

初めて、岩国行動に参加して…

「二オン北九州・臼杵運送分會

●愛宕山建設地の見学をして、山を完全に切り開いているので、山ではなくなっていた。米軍住宅の建設も見えたかったが、全く見えないようになっていたのを聞き、岩国市民に公開すべきだと思っ

た。

基地の拡大に、思いやり予算で建設しているが、日本にとって何のメリットもない。米軍の軍人が増員されると、岩国の治安がもっと悪くなり、岩国市民の生活が苦しめられると思うと、拡大を阻止すべきだ。(足田秀章)

自分の目で岩国を見てみたい!

中金労働組合書記長・石田博

京都で行われた「岩国基地大強化を許さない! 戦争への道と対決する10・24集会」に参加した際、田村順玄さんの講演を聞き、自分の目で現地の状況を見てみたいと感じ、今回の11月28・29日の2日間に渡って行われた『岩国行動2015』に参加させて頂きました。

1日目は、岩国基地・愛宕山のフィールドワーク後、シンフォニア岩国で行われた「岩国☆希望の祭り2015」に参加

させて頂きました。基地の強化・米軍住宅の建設が着々と進められ、国民より米軍優先で日本ではない別世界に感じた。この日だけなのか、想像していた騒音はなく、フィールドワーク中は不気味で恐怖もあった。ただそんな気持ちも希望の祭りが始まれば振り払われていた。まーちゃんバンド等の多数出演による音楽を通じて力強い平和への訴えに気が付けば拳を握っていた。

2日目は、「アジアか

●仕事で、岩国を通り過ぎる時に、黄色いのぼり旗がたくさんあるのは、何気なく見ていました。

今年、岩国の行動に参加して、米軍基地や住宅建設地を見学し、この黄色いのぼり旗が、米軍基地への反対の意思を表すものだとして初めて知りました。(本田和宏)



11/29岩国米軍基地ゲート前での抗議行動

らすべての米軍基地撤去を! 2017年岩国基地強化阻止・辺野古新基地建設阻止 国際連席集会」に参加させて頂きました。海外からの報告・各地の反基地運動からの報告を

●岩国行動を終え、皆様から、大きな力と勇気をいただきました。一人では小さな力でも、団結することで大きな行動ができるのだと教えられました。

これからは、日本の未来と、岩国の希望の光へ向けて応援していきます。(小橋政憲)

聞き、特に韓国のコ・ヨンデさんの米軍に配備される各種兵器の説明は聞いたことのない内容が多く、多々驚くことしかなかったのと同時に、身近である京都京丹後の米軍Xバンドレーダー基地反対に対する闘いの重要性を改めて感じた。

最後になりますが、今回の『岩国行動2015』に参加したことで、日本各地で様々な異常事態を起こす政府。それを阻止する労働者。この闘いに終わりは無い! そう感じ一員として闘いたいと心から思う限りです。

第3次ILO勧告をばねに、JAL解雇争議の解決をかちとろう!

JAL解雇争議の解決 働条件の低下や人員削減に向け、11月の本社前座り込み、12月は厚労省前宣伝&国交省前座り込みを行いました。10日間でのべ1630名の方に参加頂きました。本当に有難うございました。

11月12日には、ILO第3次勧告が出されました。2次勧告以降の労使交渉や大田啓介を踏まえ、ILOは「本件の最新の展開に鑑み、会社と当該労組との意義ある対話の重要性を今一度強調する」として、労使間での協議解決を強く求めています。また、この第3次勧告では、ILOとしても「早期解決」の意思を表しています。

労働組合からも具体的な解決に向け、協議の申し入れを行っています。JALでは、経営破綻後の労



12/8~11 国交省前座り込み行動